討論

議案に**賛成・反対**します

◆平成30年度 一般会計予算

賛成討論（要旨）

人口減少と超高齢社会の到来、産業構造の変化など難しい課題が多い中、解決に向けて積極的に立ち向かう強い信念と、創意工夫が見られたものと評価している。

▶転出よりも転入が多い社会増を実現させた親元同居・近居支援補助制度の継続 ▶待機児童の解消を強く要望 ▶中学生を対象に英語検定の受検費用を助成 ▶（仮称）狭山市ビジネスサポートセンターの31年度開始に向けた準備 ▶入曽駅周辺整備事業の基本設計や民間施設の誘致などの実現 ▶おりぴぃ健康マイレージ事業や健康遊具の設置の継続 ▶市内循環バス（茶の花号）の新ルートの早期運行 ▶32年度供用開始を目指して、入曽地区地域交流施設（仮称）整備事業の工事着手

反対討論（要旨）

地方自治体は市民の暮らしを守る防波堤の役割が求められる。しかし、就学援助制度の改善、学校トイレ改修の前進など見るべきものがある一方、次のとおり多くの問題があるため反対する。

▶下水道料金の値上げ ▶奨学金制度の後退 ▶保育所待機児童の増加 ▶社会教育法に位置づけられた公民館を10年間ですべてなくし交流センターにかえる ▶個人番号制度は情報の漏えいが発生している。国に廃止の要請を ▶茶の花号運行の見直しの予算が充分にないなかでの実施のため新たな不満 ▶生活保護行政の申請受理業務に県の指導を ▶中小企業支援の総括が不明のまま新たな事業（狭山ビジネスサポート）に着手 ▶福祉施策の廃止・縮小

採決の結果

平成30年第１回定例会では、市長提出議案54議案を審議し、採決の結果、議案第13号を否決し、その他の議案は同意・可決しました。

◆賛否が分かれた議案

○…賛成、×…反対、退…退席、討…討論者、議長は採決には参加しません

議案番号	議案名 ＼ 会派名・議員名	創政会					創造					公明党				日本共産党			新政みらい	はつらつ狭山		無
		千葉	笹本	三浦	新良	田村	太田	西塚	金子	矢馳	町田	綿貫	加賀谷	磯野	齋藤	望月	大沢	猪股	土方	内藤	中村	大島	高橋
13	農業委員会委員の任命	○	○	○	○	一※	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	×	×	×
17	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○
24	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×討	×	○	○	○	○	○
31	29年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○
36	30年度一般会計予算	○	○	○討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×討	○	○	○	○	×討
39	30年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○
42	30年度下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×
50	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×討	×	○	○	○	○	○
51	特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×

※除斥：議案第13号は本人の任命に係わる議案のため、規定により審議や採決に参加できません

◆全員が賛成した議案

市長提出議案／**人事**農業委員会委員の任命（小林一洋氏、小野田敏枝氏、宮岡利治氏、田口由一氏、落合房子氏、諸口秀敏氏、諸口高男氏、細田幸司氏、宇佐美日出夫氏、古谷博氏、浅見誠次氏、久保田愼一氏）、固定資産評価審査委員の選任（須田芳昭氏、清水七都子氏） **条例の制定**指定居宅介護支援等の事業の人員、運営基準を定める条例 **条例の一部改正**公益的法人等への職員派遣に関する条例、国民健康保険の保険給付費支払基金の設置、管理及び処分に関する条例、心身障害者医療費支給条例、後期高齢者医療に関する条例、国民健康保険条例、国民健康保険税条例、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営基準を定める条例、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、都市公園条例、一般職職員の給与に関する条例、企業職員の給与の種類及び基準に関する条例 **補正予算**一般会計（第6号） **特別会計補正予算**国民健康保険（第3号）、狭山市駅東口土地区画整理事業（第2号）、介護保険（第2号）、後期高齢者医療（第2号） **特別会計予算**国民健康保険、狭山市駅東口土地区画整理事業、後期高齢者医療、水道事業会計 **その他**埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、埼玉県市町村総合事務組合の規約変更、財産の取得（2件）、市道路線（廃止1、認定3）、川越市道路線の認定の承諾

常任委員会からの活動報告

３月定例会で行われた常任委員会の議案審査の一部を抜粋して概要をお知らせします。

売上高向上支援に特化したビジネスサポートセンター

総務経済委員会

◆平成30年度一般会計予算

Q 入曽地区地域交流施設（仮称）整備事業への補助金と、その補助金の整備工事費全体に占める割合は。

A 2億2千690万円の基準定額に、受変電設備の1千275万円、太陽光発電パネルの781万円、自家発電設備の648万円が加算され、合計2億5千394万円となり、25％程度となる。

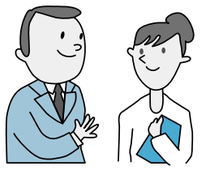
◆（仮称）狭山市ビジネスサポートセンター

Q 同制度を導入している自治体は。

A 16市町が導入し、準備をしている自治体は3自治体である。

Q 中小企業の販路拡大分野は、産業労働センターの指定管理者に任せられないか。

A ビジネスサポートセンターはあくまでも売上高の向上支援に特化していきたいと考える。売り上げ高の向上のための資金調達について、産業労働センターと連携しながら、中小企業の力を伸ばしていきたい。



サピオ稲荷山などを活用し市民の健康増進を

文教厚生委員会

◆平成30年度一般会計予算

Q 子ども学習支援事業は、小学生にも塾講師などが指導するのか。

A 学習に特化するのではなく、居場所づくりや子ども食堂との協働、保護者への養育支援も考えている。

Q サピオ稲荷山は、健康増進施設として民営化方針が出され、今後、調査を行うとのことだが、具体的には。

A 現状の設備や運営、利用状況を整理し、民間事業者の意向が確認できる調査を行う。その後、事業者への公募要項などの作成などを予定している。

Q 奨学金の貸与の状況は。

A 新規の貸与件数は、28年度の23件から9件に、継続は74件から68件に減少した。理由として、新規は、所得や成績要件を考慮したからと思われ、継続は卒業などによる。

Q 学校給食費の公会計化に向けた見込みは。

A 国や県の動向、また既に公会計化を導入している他市への問い合わせや視察を実施し、調査研究していく考えである。

さらに住みよいまちをめざして

建設環境委員会

◆平成30年度一般会計予算

Q 空家対策に対し、市で行う業務は。

A 空家等対策協議会の設置と空家等対策計画の策定と考える。

Q 空家等対策協議会の委員の構成は。

A 条例により10名以内。警察、消防、市民の代表等で構成する。

◆財産の取得について（鵜ノ木団地）

Q 約1億2千万円の取得金額だが、内訳と金額の妥当性は。

A 工事費として、浄化槽の解体・外構工事を含む集会所、児童公園、駐車場の合計が7千970万円。従前の建物の解体工事が1千259万円。設計管理費など1千494万7千600円であり、合計で1億723万7千600円である。これに事務費、引渡しまでの利息、消費税を含めた総額が1億2235万5千円となる。国土交通省の積算基準に従っているため、市で設計しても同等となる。

鵜ノ木団地建替事業